



広報

ごじょうめ

昭和62年

3月15日

(毎月1日・15日発行)

No. 560



クラブ活動の発表会でホームの仲間にお手前を披露

（広報紙中にある写真を欲しい方には）
おあげします

お年寄りたちの健康保持と生活の安全を図るための福祉施設——養護老人ホーム森山荘は、昭和四十三年十二月、築地町から現在の岩城町に移転新築されました。定員は五十人。ホームに入所できる年齢は、原則として六十五歳以上と決められています。

ホームのお年寄りたちは、健康づくりや生きがいのある生活を目指して、積極的にクラブ活動に取り組むとともに、町のシルバークラブに登録するなど、社会参加や奉仕活動にも努めています。お年寄りたちのクラブは、茶道、手芸、民謡など八つあり、園芸クラブの花壇は県のコンクールに入賞していますし、ひょうたんクラブの手作りマスコットは、交通安全運動に役立っています。

また森山荘では、在宅一人暮らしのお年寄りを招いての入浴サービスやピクニック、運動会など、これからの高齢化社会に対応した社会福祉施設としての試みも行っています。

（「町の施設」は今回で終了します）

森山荘

町の施設



発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188 (52) 2430

特集

さようなら富津内中学校

40年の歴史閉じる

同窓生は一四〇五人

富津内中学校が今年度限りで閉校となり、五城目第一中学校に統合されることになりました。同校では、三月十九日(木)午前十一時半から体育館で閉校式を行い、昭和二十二年の開校以来四十年に及ぶ歴史を閉じることになっています。

富津内中学校最後の卒業生となる今年度の卒業生は八人。これまでの卒業生は、昭和三十三年までの西教場の卒業生四百十三人を加えると千四百五五人となります。

富津内中学校は、昭和二十二年四月、富津内村立富津内中学校として創立、同年五月、富津内村立富津内小学校に併設という形で開校しました。当時は、富津内村の地形が東西に長いという地理的要因から、小学校は現在の場所の東小学校と上山内の西小学校に分かれており、中学校は二つの小学校にそれぞれ東教場、西教場として併設されました。

昭和二十七年には学校創立五周年記念式典が行われ、校章と校歌が制定されています。校章は、画家の寺崎諒氏がデザインしたもので、天に向かって真つすぐ伸びる若い秋田杉三本を表わしています。また、校歌は、日本の児童文学者、滑川道夫氏が作詞し、NHKで有名な富永三郎氏が作曲したものです。

昭和三十年、町村合併によって五城目町立富津内中学校と校名が変わり、三十三年には、中学校の統廃合で西教場が五城目第一中学校に統合されました。その結果、東教場が独立して新しく富津内中学校として発足し、今日に至りました。

昭和四十年代に入ると、百人を超えた生徒数が年々減少し、五十年代になると四十人にも満たなくなりました。その後も生徒数は減少する一方で、生徒数が十六人となった今年度は、複式学級編成を余儀なくされました。また、全校生徒の半分の八人が三年生で、来年度の生徒数は十四人となる予定でした。

同校のPTAの皆さんは、このような現状を踏まえて富津内中学校統廃合推進委員会を組織し、五城目第一中学校との統合について検討、協議を重ねました。そして昨年八月、同委員会は町教育委員会に統合についての陳情書を提出しました。

富津内中学校沿革

昭和 22年4月1日	富津内村立富津内中学校として創立
5月1日	開校(富津内村立富津内東小学校と西小学校に併設)
27年10月30日	創立五周年記念式典 校章・校歌制定
28年12月9日	二教室増築落成
29年11月1日	雨天体操場増築落成
30年3月31日	町村合併により五城目町立富津内中学校と校名を変更
32年11月9日	創立十周年記念式典
33年7月1日	学校統廃合により西教場が五城目第一中学校に統合、東教場が独立し富津内中学校となる
34年12月24日	新校舎(特別教室棟)竣工
38年10月23日	産業教育公開研究会
39年9月4日	中学校便所新築竣工
41年9月22日	給食室竣工
42年9月1日	創立二十周年記念式典
46年11月16日	町教育委員会指定「二教科」公開研究会
53年9月14日	町教育委員会指定「特別活動」公開研究会
54年10月18日	独立二十周年記念式典
55年10月21日	緑の少年団結成
55年10月21日	自転車置場新築竣工
56年7月31日	野球部解散し卓球部結成
57年9月10日	卓球練習場竣工



校章

天に向かって
まっすぐに伸びる
若い
秋田杉三本

生徒数の推移と卒業生数

年度	生徒数(人)	卒業生(人)	年度	生徒数(人)	卒業生(人)
22	76 (92)	29	36	117	28
			37	124	48
23	96 (115)	47	38	118	40
			39	107	36
24	119 (135)	70	40	106	40
			41	88	31
25	136 (131)	92	42	79	31
			43	78	24
26	118 (118)	87	44	69	24
			45	66	29
27	105 (116)	82	46	53	16
			47	52	21
28	93 (119)	64	48	50	16
			49	45	15
29	104 (127)	74	50	42	19
			51	36	11
30	111 (122)	72	52	36	12
			53	34	13
31	111 (113)	84	54	38	11
			55	33	10
32	99 (109)	72	56	36	17
			57	27	6
33	93 (95)	33	58	33	13
			59	28	8
34	88	33	60	26	12
35	105	27	61	16	8

※()内は西教場の生徒数

学校統合にあたって

富津内中学校PTA会長
富津内中学校統合推進委員会代表

伊藤 隆(落合)



富津内中学校も今年度をもって、五城目第一中学校に統合することになりました。統合にあたり、町関係当局に大変お世話になり、学校の関係者一同心からお礼申し上げます。

以前よりいろいろと話題になっておりましたが、今一歩で実現に至らなかったのです。今回統合に踏み出すことになった要因は、いくつかありますが、一つは生徒数の減少、さらに加えて増加の要素が見えなかったことです。

たとき、私達は父兄だけではなく、地域全体の問題として取り上げ、地域の有識者、PTAの役員などによる特別委員会を時限で設置し、学区内の意見を聞いた結果、今回の運びとなりました。また、地域からは統合に伴う要望を聞き、これを検討し、何項目かに整理して町当局に提出しました。私達は、地域住民全体の問題として取り上げ、対処したことがよかったのではないかと考えております。

二、富津内川の 水清く 世界につづく のぞみあり みどりの木々に かこまれて すなおに育つ 教えあり われらが母校 富津内校

三、山にも田にも めぐみあり 村人ともに はげみあい 日は野の上に かがやきて 愛と平和の 教えあり われらが母校 富津内校

富津内中学校校歌

作詞 滑川 道夫
作曲 富永 三郎

はぎれよく重く引きずらないで



めぐるやまやま ひーにはえてりそ



うのくものわくところや



まふどころにいだかれて



ひろくゆたかなおしーえあり われらがほこ



うわれらがほこ うふつないこう

新制中学校誕生の思い出

初代校長 淡路 進 (秋田市)



富津内中学校が廃校になる
とのこと、世の移り変わりとは
いっても感無量というより
ほかありません。

新制中学校の誕生は、昭和
二十二年で、校舎も設備もな
い小学校からの間借り学校で
ありました。それに先生は不
足、これを克服することが当
面の問題であつたのでありま

す。そこで第一に考えられた
ことは、教職員の確保という
ことでありましたが、幸いに
も優秀な先生にきていただき
ました。

富津内村は、ご承知のよう
に東西に長い地域であり、生
徒を同一校舎で教育すること
が不可能な実情で、必然的に
東西に分けて教育するよりほ
かなかつたのであります。し
かも、小規模校でこの特殊事
情、これを打開するため全職
員で研究討議した結果、東西
両教場に定着教員と移動教員
を配置するという組織をつく
り、教育することにしたので

あります。また、生徒も東西協
力し、学習活動とクラブ活動
を推進するよう合同研修曜日
を設定して、東と西に移動し
て研修したのであります。当
時は交通不便な時代で、遠い
距離を歩いてよく頑張ってく
れました。このように、職員と
生徒が一致協力したおかげで、
小規模校でありながら地域の
特殊性をのりこえて、富津内
中学校の声価を高めてくれた
のであります。

最後になりましたが、学校
の象徴である校章と校歌につ
いてであります。校章は、
成長の旺盛な若い杉の美的で
素直に育ち行く姿を圖案化し
たものであります。校歌は、
富津内の自然と理想をうたっ
て、これからの若い人のより
どころを表現したものであり
ます。



東教場が独立して富津内中学校とな
ったときの教職員 (昭和33年11月)



伊藤くみ子先生の授業 (昭和27年・東教場)



大台学校林で (昭和25年ころ)



松橋 (長) 先生の授業 (昭和25年・西教場)

栄光の足跡

卓球・バレー活躍

富津内中学校は、各種スポーツ大会で数々
の輝かしい成績を収めています。特に女子の
バレーボールは、郡内では常にトップクラス
位置にあり、昭和三十九年に男鹿南秋大会で
優勝したのを皮切りに、郡内での優勝は十指
に余ります。また、昭和四十五年には、三年
連続郡大会優勝、県大会三位、東北大会三位
という偉業を成し遂げました。

生徒数が少なくなった昭和五十六年には、
男子の野球部を解散し、卓球部を結成。全校
一丸となって卓球に打ち込み、五十九年、六
十年と県大会で団体優勝しています。(敬称略)

昭和39年	5月31日	郡春季体育大会バレーボール三位
昭和40年	7月23日	郡総合体育大会バレーボール三位
昭和40年	11月22日	男鹿南秋バレーボール大会優勝
昭和40年	6月5日	郡春季体育大会バレーボール優勝
昭和41年	7月22日	郡総合体育大会バレーボール優勝
昭和41年	10月9日	郡秋季体育大会バレーボール三位
昭和42年	7月10日	郡総合体育大会バレーボール二位
昭和42年	10月1日	郡秋季体育大会バレーボール優勝
昭和43年	9月30日	郡秋季体育大会バレーボール優勝
昭和43年	6月22日	郡陸上競技大会女子四百Mリレー優勝
昭和44年	6月30日	男鹿南秋選抜バレーボール大会優勝
昭和44年	7月6日	郡総合体育大会バレーボール優勝
昭和44年	7月8日	郡総合体育大会バレーボール三位
昭和44年	6月22日	全県選抜バレーボール大会三位
昭和44年	6月28日	郡陸上競技大会女子四百Mリレー二位 (新記録)

歴代校長

(敬称略)

	氏 名 (在職期間～年・月・日)
初代	淡 路 進 (22. 4. 1～35. 3. 31)
2代	佐 藤 克 己 (35. 4. 1～38. 3. 31)
3代	広 嶋 元比古 (38. 4. 1～42. 3. 31)
4代	忍 卓 (42. 4. 1～45. 3. 31)
5代	鈴 木 彦四郎 (45. 4. 1～47. 9. 25)
6代	猿 田 光 (47. 10. 1～49. 3. 31)
7代	渡 部 昌 (49. 4. 1～50. 3. 31)
8代	田 中 安 (50. 4. 1～52. 3. 31)
9代	今 村 房 蔵 (52. 4. 1～54. 3. 31)
10代	伊 藤 宗 三 (54. 4. 1～57. 3. 31)
11代	伊 藤 隆 (57. 4. 2～59. 3. 31)
12代	石 井 武 (59. 4. 1～61. 3. 31)
13代	本 間 米 吉 (61. 4. 1～現在)



第 1 期 生 (昭和22年度卒業)

自動的に第一期卒業生に

第一期生 小野 富八 (八郎潟町)



富津内中学校という校名は、私の履歴にとつて終生ついてまわるし、また、忘れ得ない学校である。時の流れとはいへ、思い出深い校名が消え去ることは、やはり一抹の寂しさを禁じ得ないし残念である。この想いは、ここで学び育まれた多くの人たちが等しく感じることだと思ふ。

第一期生といつても私たちは、正確には三年生として一年間在籍しただけである。今四十年前を振り返るとき、いろいろなことがあり、悲喜それぞれ思い出が甦ってくる。

戦後の荒廃の中で、教育立て直しの学制改革第一歩であったのだから、高等二年を終えて中学三年に入學したのである。確か、中学三年は義務教育でなかったよう、従つて五十人近くいた同級生のうち十人位しか進學しなかった。慌ただしい世相の中で、とにかくどきどきまぎれの一年間を過ごし、自動的に第一

期卒業生というありがたい位置付けになつてしまつた。

また、戦後の混乱というよりも、とにかく物不足の時代であつた。男の先生の多くは軍服の払い下げを着ていたし、生徒のカバンは軍用の雑のうと称するものを使用していた。そして、学校での教育そのものも、いわゆる六・三制はスタートしたものの、教科書も十分でなかった。少ない教材をやりくりしながら教える先生も大変だつたと思うが、生徒も同じである。英語なるものの教科書をはじめ勉強することになったが、教科書は一年生も三年生も同じもので教わつたように思う。また、運動用具を備えるために、休校日にみんなで手間賃稼ぎをした経験もある。このように、昨今では考えられないことを体験しながら中学生生活を終えた。

富津内中学校という小さな学校ではあつても、その時々幾多の功績を刻みながら歩みつづけた四十年間を顧みるとき、本当にご苦労さまと言いたい。小さな学校でなければ味わえない教育のよさもあつたろうし、そのよさを失わない統合中学校であつてほしいと願うものである。



郡大会3連覇を成し遂げた女子バレー部 (昭和45年)

7月20日	郡総合体育大会バレーボール優勝
8月28日	郡駅伝大会四位
9月27日	郡秋季体育大会バレーボール優勝
10月26日	全県選抜新人大会バレーボール二位
昭和45年	
5月9日	郡春季体育大会バレーボール優勝
5月24日	全県選抜バレーボール大会三位
6月7日	全県選抜バレーボール本荘大会優勝
6月21日	全県選抜バレーボール和洋大会三位
7月12日	郡総合体育大会バレーボール優勝
7月31日	全県総合体育大会バレーボール三位
9月19日	郡駅伝大会三位
9月26日	郡秋季体育大会バレーボール三位
12月22日	東北中学校バレーボール大会三位

昭和46年	
5月5日	郡春季体育大会バレーボール三位
6月26日	バレー部郡三連覇受賞
7月4日	郡総合体育大会バレーボール二位
9月25日	郡秋季体育大会バレーボール二位
昭和47年	
4月23日	男鹿南秋季選抜バレーボール大会優勝
5月2日	郡春季体育大会バレーボール二位
7月2日	全県選抜バレーボール大会三位
7月7日	郡総合体育大会バレーボール優勝
7月29日	全県総合体育大会バレーボール三位
9月12日	郡駅伝大会五位



創立20周年記念式典（昭和42年9月）



トラックに乗って優勝パレード（昭和44年7月）



就職する生徒の激励会（昭和41年度）



アメリカの高校の先生が3年生に英語の発音を指導（昭和43年）

無心にボールを追いかけたあの頃

元バレー部キャプテン

越高 友子（水沢）



素直に感謝の念を表現できる心根を教えてくれた富津内中学校の廃校が、今、現実となった時、私は今まで歩んできた足跡の一部が踏み消されたようなものすごい淋しさと、

残念でたまらない気持ちになりました。人間育成の中で、一番大切な時期を過ごした富津内中学校、自然環境がよく、教師にも、友達にも、思い出にも恵まれた価値ある三年間でした。なかでもバレーボールは、私にとって最高の思い出です。放課後、無心にボールを追いかけたあの頃、天井の低い体育館は、正確なプレーを必要とさせ、近くの神社へのかけ

足は、足腰を鍛えてくれました。部員が少なく、全員が選手で、補欠で、マネージャーだと思ふ気持ちのためか、チームワークは最高。だからこそ泣くのも笑うのも一緒でした。そして小さな輪のチームは、厳しい練習に耐え、郡大会三年連続優勝、全県大会三位、東北大会三位という、もったいない程の栄光を手にする事ができたのです。今でも、臉を閉じると昨日のこのように浮かんできます。富津内中学校の歴史は閉じても、伝統の灯はいつまでも燃え続けると思っています。そして今後、同級会、同窓会とつどい、校歌を斉唱する時、思い出は一段と鮮明に映しだされることと思います。



全県大会で優勝し東北大会に出場した男子卓球部（昭和59年）

昭和48年	5月8日	郡春季体育大会バレーボール三位
昭和49年	7月4日	郡総合体育大会バレーボール二位
昭和50年	7月4日	郡総合体育大会野球三位
昭和50年	10月4日	郡秋季体育大会野球三位
昭和54年	10月11日	昭和四十九年度学校造林コンクール育成管理の部で県知事賞を受賞
昭和56年	5月2日	県交通安全協会募集作文優秀賞 小林悦子、同入選 伊藤春美
昭和57年	10月2日	郡春季体育大会野球三位
昭和58年	5月1日	郡秋季体育大会卓球三位
昭和59年	5月1日	郡春季体育大会卓球三位
昭和59年	7月5日	郡春季体育大会バレーボール三位
昭和59年	7月5日	郡総合体育大会卓球三位
昭和59年	9月29日	郡秋季体育大会バレーボール三位
昭和59年	9月29日	郡秋季体育大会卓球三位
昭和59年	4月28日	郡春季体育大会卓球優勝
昭和59年	4月28日	郡春季体育大会バレーボール三位
昭和59年	6月7日	全県選抜卓球和洋大会三位
昭和59年	6月24日	郡総合体育大会卓球優勝

（5ページから）



長い歴史と伝統をほこる本校も、いよいよ閉校の時がやって参りました。なんとなく心ざびしくなります。

本校は、地域の中央に位置し、昭和二十二年四月一日、富津内中学校東教場（小学校へ併設）として創立以来四十年、千四百五十名の卒業生を世に送りました。

その間、校章、校歌を制定



富津内中学校最後の教職員と生徒の皆さん

富中魂を忘れずに

伊藤 晋（三年生・落合）



校歌に「めぐる山々 日に映えて 理想の雲のわくところ」と歌われているように、緑豊かな恵まれた環境の中で学ぶことのできた幸せを感じております。

生徒数が少ない私たちは、小規模校なりにいろいろな事を学びました。校内の仕事に

しても、一人で何役も積極的になさなければなりません。生徒会長、学級委員長、保健委員、選挙管理委員など。それだけに難儀はしましたが反面、得がたい経験を積むことができました。

小中合同で趣向をこらして実施した運動会、学校の自然を生かしたクリ拾い、たぬきに靴をとられて大さわぎした思い出、そのほか数えあげればきりがなほの思い出があります。この思い出の多い学校が、三月末で閉校になることは誠に残念です。時の流

れとはこういうものでしょうか。この学校に学んだ多くの先輩たちも、いろいろな思い出が残っていると思います。

人数の少ない学校とはいえ、私たちは勉強や部活動で他校に負けないようにがんばってきましたつもりです。特に部活動では、先輩たちが夏の全県大会で二連勝しました。私たちは、この学校で学んだことを誇りに思っています。

最後の卒業生である私たち三年生は、高校へ行っても富中魂を忘れず、一生懸命がんばります。一、二年生の皆さんも五城目一中へいっても勉強、スポーツに思い切りがんばってくれることを期待しております。

閉校のことば

富津内中学校長 本間 米吉

ます。更には、地域住民の心のよりどころとして、産業・教育・文化・スポーツ振興に果たしてきた役割の大きかった事も見落してはならない一つです。

みる夏
○ ススキの穂がきらきらと輝く秋
○ 墨絵のような山と川に雪が舞う冬
それぞれの分野で活躍され、

し、教室の増築、産業教育の公開（県）、三教科公開（町）、学校造林コンクール優秀賞受賞、バレーボール、野球、卓球各部の活躍等、輝かしい歩みを学校沿革誌にとどめてい

先輩たちは、常に母校のめざまれた四季の自然環境を讃えながら、
○ どの教室でも鶯の声が聞ける春
○ 校地を囲む山の緑が目にし

母校のためおしめない援助と助言を与えてくださいました。わたしたちは、これを経営の糧として励んできました。

しかし、時の流れはさびしく、生徒数の減少に伴う教育環境の変化と、将来の望ましい教育のあり方をもとめている町の長期総合発展計画の方向から、この度、五城目第一中学校と統合する決定をみ、三月三十一日をもって閉校の運びとなりました。

これまでお寄せいただきましたご厚情を深く感謝申し上げますとともに、一層のご発展を念じて閉校のことばといたします。

最後の卒業生として一言

▽ いろいろな栄光を得てきた富津内中学校も、ついに終わることになったのは、残念でなりません。

▽ 三年間、いろいろな思い出を与えてくれた学校がなくなることは、とても悲しい。

小玉 努
伊藤 一司
伊藤 忠
伊藤 勝子
伊藤 史子
伊藤 真理

▽ すばらしく、そしてたいへん思い出深い学校の最後の卒業生になるなんて、とても残念です。

▽ 緑にかこまれた校舎よさようなら、富津内中学校はいつも心の中に。

▽ 富津内中学校で学んだことに誇りをもち、これからも頑張りたいと思います。

伊藤 勝子
伊藤 忠
伊藤 史子
伊藤 真理

▽ 高校生になつてから、富津内中学校の卒業生として母校に遊びにいけないことが、とても残念でなりません。

伊藤 史子
伊藤 真理

▽ 過疎化が進み、小規模校になつてしまったけれども、まさか今年で閉校とは思いませんでした。

伊藤 真理

7月9日	全県総合体育大会卓球優勝 個人三位（伊藤一仁、伊藤恭二）
8月2日	東北中学校卓球大会五位
9月30日	郡秋季体育大会卓球優勝
9月30日	郡秋季体育大会バレーボール三位
10月21日	全県選抜卓球大会優勝
昭和60年	
4月27日	郡春季体育大会卓球優勝
6月16日	全県選抜卓球和洋大会優勝
7月5日	郡総合体育大会卓球優勝
7月28日	全県総合体育大会卓球優勝 個人三位（伊藤孝志）
8月10日	東北中学校卓球大会五位
8月20日	全国中学校卓球大会個人の部出場 （伊藤孝志）
9月29日	郡秋季体育大会卓球優勝
昭和61年	
2月26日	卓球部、県体育協会から有功賞受賞
4月26日	郡春季体育大会卓球二位
7月6日	郡総合体育大会卓球優勝
9月28日	郡秋季体育大会卓球二位



住民異動の届け出は役場住民課窓口で

引越シーズンです

住民異動の届け出や

手続きを忘れないうで

春は、就職・転勤・入学などで引越しの多いシーズンです。引越する際、忘れてならないのが住民異動の届け出です。うっかり異動の手続きを忘れると、選挙に参加できなかったり、国民年金の給付を受けられないなど、いろいろな都合が生じることもあります。住民異動の届け出は、期間内に必ず出してください。特に、四月には統一地方選挙もありますので、忘れないようにしましょう。

まず住民異動の届け出

住民異動

転入届け：前に住んでいた市区町村から交付された転出証明書と印鑑を持って、転入した日から十四日以内に役場窓口で手続きをしてください。
転出届け：転出証明書を交付しますので、印鑑を持参してください。
転居届け：印鑑を持参して、町内で引越をした日から十四日以内に手続きをしてください。

ほかの手続きも一緒に

引越したら、住民異動の届け出のほか、印鑑登録、国民年金などの手続きも忘れずに行いましょう。

印鑑登録

転出する市区町村に印鑑登録証を返却し、新住所地で新

たに登録申請してください。なお、その際は登録する印鑑のほか、本人であることを証明できるもの（運転免許証、健康保険証など）が必要です。

就学児童の転校

現在、通学している学校で「在学証明書」をもらってください。住民登録の手続きの後、教育委員会が学校指定を受け、指定校で手続きを行ってください。

国民年金

年金手帳と保険料の領収書を持参して手続きをしてください。

国民健康保険

転出、転居する際、国民健康保険証を返却し、新しい住所で新たに申請してください。

老人・福祉医療

新たに対象となる方は、健康保険証、身体障害者手帳、

印鑑、昨年の所得証明書（福祉医療のみ）を持参して、手続きを行ってください。

水道

変更や廃止の際、できるだけ早く届け出てください。

運転免許証

引越したら、転出先の警察署で手続きを行ってください。自動車のある場合は、車庫証明を用意し、所轄の陸運事務所へ登録変更手続きをしてください。

その他

電気、電話などの変更、廃止の手続きも行いましょう。郵便局、銀行などへの転居届けもお忘れなく。

東北電力（株）五城目出張所

NTT五城目電報電話局

五城目郵便局

52-20049
52-20000
52-22200

届け出窓口 インフォメーション

住民異動の届け出が必要な役場の窓口は、次のとおりです。（電話52-2100）

①番（住民課）

住民異動、印鑑登録、国民年金など

②番（住民課）

身障者手帳、児童手当など

③番（保健衛生課）

老人保健、国民健康保険など

④番（水道課）

水道の変更、廃止など

どんな風呂釜・ボイラーでも
お修理します

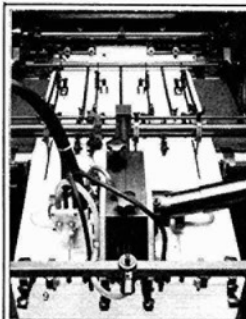
お気軽に
お電話下
さい

52-9497

女子従業員
募集

事務担当 1名
調理担当 1名

信賴の炎を燃やして
磐田ガス燃料



印刷なら...

カラー印刷から名刺まで...

湖東印刷所

五城目町古川町 52-2430



需要の動向に応じた計画生産が求められている米づくり

62年度から

水田農業確立対策スタート

町の転作等目標面積は371ヘクタール

昭和六十二年度から「水田利用再編対策」に変わり、新たに「水田農業確立対策」がスタートします。実施期間は、六十七年度までの六年間。

水田農業確立対策は、水田を活用して生産される作物の生産性の向上や輪作農法の確立、需要の動向に応じた米の計画生産をねらいとしています。実施に当たっては、生産者と生産者団体が主体的責任をもって取り組むことを基本とし、行政と生産者団体が一体となって推進するものです。水田農業確立対策による六十二年度の本町の転作等目標面積は、六十一年度より一六ヘクタール多い三七一ヘクタールとなっています。これは、本町全水田面積の二〇・七割に当たります。

事前売渡申込限度数量は、十一万三千四百五十一俵（うち米十一万二千九百八十七俵、もち米四百六十四俵）で、六十一年度より七千六百二十三俵少なくなっています。また、他用途米の生産数量は、五百六十五俵増の二千七百四十八俵となっています。

助成金は、加算重視体型となり、基本額は引き下げられました。また、飼料用米と地力増進作物が、新たに転作の対象作物に加えられました。

助成金の種類と額（10a当たり）

区 分	基本額 (町平均)	加 算 額	
		生産性向上加算	地域営農加算
一 般 作 物 (麦、大豆、飼料作物、 花き等)	24,000	20,000	10,000
永 年 性 作 物 等 (果樹、転換畑、林地、 養魚池等)	29,000	20,000	10,000
特 例 作 物 (野菜、たばこ等)	8,000	5,000	5,000
水 田 預 託	8,000	—	—
土地改良通年施行	8,000	—	—

婦人会の協力で

“おむつ” 774枚

五城目町社会福祉協議会では、毎年婦人会の協力を得て、町内の皆さんからおむつを集め、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈しています。今年も婦人会の協力で、七百七十四枚のおむつが集まりました。社会福祉協議会では、このおむつを次のように配分する予定です。

▽協力枚数	
五城目地区婦人会	一四七枚
富津内（東）地区婦人会	一一六枚
富津内（西）地区婦人会	八一枚
内川地区婦人会	一二六枚
森山地区婦人会	七五枚
馬場地区婦人会	六七枚
杉沢地区婦人会	五八枚
大川地区婦人会	一〇四枚
計	七七四枚
▽配分予定	
森山荘	二〇〇枚
昭寿苑	三〇〇枚
高清水寿光園	一〇〇枚
河辺荘	一〇〇枚
町内のねたきり老人家庭へ	七四枚

非行

こんなときは 要注意です

進学や就職、少年たちの心は揺れ動いています。そして春休みは、子供たちを開放的な気持ちにさせます。毎年、この時期になると、非行や家出が多くなります。お父さん、お母さん、子供さんがこんなときは要注意です。

- ① 行き先も言わずに外出したり、帰宅時間が不規則になったりする
- ② 金遣いが荒く、金をせびったり、つり銭などをごまかしたりする
- ③ 買い与えたおぼえのない品物を持っている
- ④ 服装が派手になり、パーマをかけたがる
- ⑤ 不良性のある友だちが訪ねて来たり、こっそりと電話や手紙のやりとりをする

⑥ したりする
臭いがする
警察などでは、少年の非行、家出、自殺などを未然に防止するため、相談窓口を設けています。子供の非行や家出などの問題で困ったときは、気軽に次のダイヤルを回してください。

▽五城目警察署少年係
電話 52-4100
▽やまびこ電話（少年相談）
電話 24-1212

郷土色豊かに……「まごころ」こめたお菓子

五城目菓子組合

草皆製菓 昭栄 52-1005
ガトーきたき 仲町 52-1005
長栄堂 吉川町 52-1005
光新堂 田町 52-1005
八木堂 田町 52-1005
松月堂 神前町 52-1005
菓子しばた 川原町 52-1005
伊藤菓子店 古川町 52-1005
やまざき 田町 52-1005
あきらや 中川原 52-1005

国保税

滞納していると 保険証の返還も

国民健康保険税(国保税)は、国民健康保険事業

運営の基本的な財源であり、

これを納めることは、被保険

者の義務です。

このほど、国民健康保険法が改正され、特別な事情がないのに、

国保税を滞納している世帯からは、

「保険証」を戻してもらい「保険証」

の代わりに「被保険者資格証明書」

で診療を受けていただくことにな

りました。この場合、診療費は一応

自費で支払い、後で国保からその

七割相当額の払い戻しを受けるこ

とになります。



①保険証を戻してもらいます
災害その他、政令で定める

特別の事情がないのに保険税を滞納している世帯からは、保険証を戻してもらいうこととなります。

②被保険者資格証明書を交付します
保険証を戻してもらった場合

は、その代わりに被保険者資格証明書を渡します。これで診療を受けることとなります。

③お年寄りなどの場合は
保険税を滞納して被保険者資格証明書を交付された世帯

の中で、老人保健で診療を受けているお年寄りや厚生省令で定める医療によって診療を受けている人がいる場合は、その人に対し別に保険証をお渡ししますので、これによって診療を受けてください。

④医療費は後で払い戻します
被保険者資格証明書が交付されている場合は、医療機関の窓口で診療費の全額を支払い、後で国保から診療費の七割の払い戻しを受けることとなります。

⑤保険証を再交付する場合は
滞納している保険税を完納したとき、または、その額が著しく減少したとき、あるいは災害など特別の事情が発生したと認められる場合は、改めて保険証をお渡しします。

⑥給付を差し止める場合は
災害など政令で決められた特別の事情がないのに保険税を滞納している世帯には、給付の全部または一部を差し止めることができることとなります。

お知らせ

老人居室整備資金

低利でお貸しします

お年寄りの部屋を改築したり、増築する場合、「老人居室整備資金」を利用してください。この貸付金は、年金積立金還元融資資金を活用し、資金不足の人に低利で融資するものです。

▽貸付対象

六十歳以上の人(お年寄り)と同居していて、お年寄りの部屋を増改築する資金に困っている人

▽貸付限度額

八十万円(一戸当たり)

▽貸付の条件

・利率年三パーセント
・すえ置き期間 二年以内
・償還期限 すえ置き期間を過ぎてから八年以内

・償還方法 元利均等半年賦

▽貸付の申請に必要なもの

①老人居室整備資金貸付申請書(役場住民課にあります)
②所得証明、資産証明(申請者、保証人)

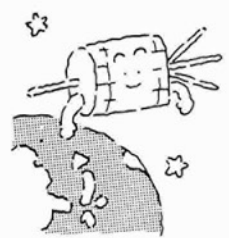
③工事見積書

④老人居室整備計画平面図

▽保証人 二人(町内在住)

▽申し込み期限 四月十日

▽申し込み先 役場住民課



世界気象デー
(3月23日)

電話お願い手帳
無料で差し上げます

町では、「電話お願い手帳」を希望者に無料で差し上げますので、必要な方は役場住民課窓口に出してください。

この手帳は、言葉の不自由な人が、外出先で電話連絡が必要になったとき、通りかかった人に、本人に代わって電話をかけていただくために、用件や連絡先を書いてお願いするもの。三月三日の「耳の日」に、NTT五城目電報電話局から「耳や言葉の不自由な人のために役立ててほしい」と町に二十冊贈られました。

NTT五城目電報電話局では、この手帳を十分に活用していただくために、町内の皆さんのご理解と温かいご協力をお願いしています。

NHK学園

受講生を募集

NHK学園では、昭和六十二年度春の生涯学習講座と高等学校の生徒を募集しています。

詳しい案内書(無料)をご希望の方は、お近くのNHKまたは、〒186東京都国立市富士見台2-3-36NHK学園8E11係(☎0425-72-3151)に、講座名、郵便番号、住所、氏名、電話番号をハガキに記入して請求してください。また、電話での申し込みも受け付けます。

表彰

佐々木さんに栄光賞

県体育協会の六十一年度スポーツ賞の授賞式が、二月十七日、秋田市のシャインプラザ平安閣で開かれ、佐々木照雄さん(四十七歳・恋地)に栄光賞が贈られました。

以內に入賞した個人、団体に贈られるもの。佐々木さんは、全日本ライフル射撃選手権大会で準優勝に輝いています。また、能代工業高校バスケットボールチームと第四十一回団体バスケットボール競技

秋田県少年男子能代工業高校チームに栄光賞が贈られましたが、両チームのメンバーには石井淳一君(築地町)と岡政貴君(高崎)が入っています。

今年度の受賞者は四十三人と十八団体。その中で栄光賞は個人二十一人と十四団体に贈られました。

国保 保険証が新しくなります 町内を巡回して交換

二年間ご使用いただいた現在の保険証(国民健康保険被保険者証)が、四月一日から新しい保険証に変わります。次の日程で町内を巡回して、新しい保険証(一般被保険者は藤色、退職被保険者はクリーム色)と交換しますので、旧保険証(一般被保険者はみず色、退職被保険者は肌色)と印鑑をお持ちのうえ、指定された日時に交換場所においでください。なお、指定された日程で交換できない方は、その日程後に、役場国保係窓口へおいでください。

日程

三月二十四日(火)
馬場目地区
▽恋地山荘：午前九時半～十一時五十分(合地、杉沢、坊井地、恋地)
▽中村公民館：午後一時半～四時(水沢、平ノ下、小野台、中村、寺庭)
三月二十五日(水)
富津内地区
▽落合公民館：午前九時半～

十一時半(北々口、落合、高千)
▽富津内コミュニティセンター：午後一時～四時半(脇乙、台・御蔵下、八田、富田、上山内、下山内)
三月二十六日(木)
内川地区
▽内川児童館：午前九時半～十一時半(浅見内一区～六区)
▽湯ノ又公民館：午後一時～二時五十分(小川口、湯ノ又一区～四区)
▽富津内コミュニティセンター：午後三時～四時半(黒土一区・二区、小倉)
▽大川環境改善センター：午前九時半～十一時五十分(大川一区～四区)、午後一時～四時(下樋口、曙町、石崎、西野、谷地中)
三月二十七日(金)
馬場目地区
森山地区
馬川地区
▽馬場目児童館：午前九時半～十一時半(蓬内台、門前、

町村、帝釈寺)
▽森山公民館：午後一時半～四時(浦横町、岡本一区・二区、野田)
▽役場保健衛生課：午前九時～十一時半(館越、久保、上高崎、高崎、下高崎)、午後一時～四時半(上樋口上・下、樋口、岩城町、老人ホーム)
三月二十八日(土)
五城目地区
▽役場保健衛生課：午前九時～十一時半(広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、新町)
三月三十日(月)
五城目地区
▽役場保健衛生課：午前九時～十一時半(一番町、古川町、紀久栄町、新畑町、矢場崎、長町、仲町、米沢町、築地町)、午後一時～四時半(畑町、昭辰町、雀館、館町、中川原、新里町、東西磯ノ目町)
※(一)内は対象町内会

お知らせ

広報縮刷版第二巻 予約者以外にも販売

町では、「広報ぐじょうめ」の縮刷版第二巻を、予約注文しなかった方にも販売しています。

第二巻の収録範囲は、昭和四十七年から五十一年までの総ページ数は七百六十ページ。広報紙の縮刷のほか、年表や統計資料なども収められています。大きさはB5判、表紙は布クロス。頒布価格は三千七百円。

秋大助教が講演 森山分館主催・無料

五城目町公民館森山分館では、森山地区大講演会を開催します。入場は無料。どなたでも参加できます。また、当日、森山地区では福祉バスを運行しますので利用してください。

▽日時 三月二十一日 午後二時～三時半
▽場所 浦横町集会所
▽内容 テーマ「心の健康について」、秋田大学助教、茂泉陽子氏
▽福祉バス運行時間(午後) 野田神社前(一時十分)→岡本二区野田入口(一時二十五分)→岡本一区陽高寺前(一時半)→浦横町集会所

海外協力隊員を募集
20歳～35歳の青年
県では昭和六十二年度青年海外協力隊の隊員を募集しています。

協力隊は、開発途上にある国々に対して経済・社会の発展のために、技術・技能を身につけた青年を派遣して各国の国づくりに協力するもので、募集職種は約百三十種です。▽資格 満二十歳以上、原則として三十五歳までの日本国籍を持つ男女
▽派遣期間 二年間
▽選考試験
・第一次選考Ⅱ筆記試験(作文、英語、技術)、六月二十一日(日)実施
・第二次選考Ⅲ面接
▽応募方法 所定の願書を五

通信制の生徒募集
秋田東高校
県立秋田東高校では通信制課程の生徒を募集しています。通信制課程は自宅学習が主体となっており、修業年限は四年以上。県内在住者であればだれでも入学できます。

▽募集期間 三月二日から四月三日まで
▽募集人員 三百人
▽問い合わせ先 県立秋田東高等学校通信制課程 ☎34-0473

提出してください。▽問い合わせ先 県企画調整課・国際交流担当 ☎60-1912
月三十一日までに事務局へ提出してください。

児童手当の支給年齢が 四月から変わります

昨年の六月に児童手当法が改正になり、二人目のお子さんにも児童手当が支給されるようになりましたが、四月からはその支給対象の年齢が変わります。

児童手当を受けられるのは、昭和六十二年四月一日現在で、満十八歳未満の児童を二人以上養育していて、その中に四歳未満の児童がいる場合。または、満十八歳未満の児童を三人以上養育していて、その中に九歳未満の児童がいる場合となります。

58年4月1日以後
生まれた第二子が対象

昭和六十二年四月一日現在、

十八歳未満のお子さんを二人育てている家庭が新たに児童手当の支給対象になります。ただし、二人目のお子さんは昭和五十八年四月一日以後に

生まれた児童に限られ、対象となる家庭には、月額二千五百円の児童手当が支給されます。

また、三人以上のお子さん育て、現在、児童手当を受けている家庭で、二人目のお子さんが新制度の対象（昭和五十八年四月一日以後に生

まれた児童）となる場合は、一人当たり月額二千五百円手当が増額されることとなります。

なお、これまで手当を受けていた家庭では、第三子以上のお子さんが、昭和六十二年四月一日現在で満九歳未満でなければ、受給できなくなります。

新年度の対象者には
認定請求書を送付

新年度の対象となるお子さんのいる家庭には、役場から三月十六日までに認定請求書が送付されます。もし、認定請求書等が送付されない場合

NHK
テレビ
湯ノ又の「百万遍」が
3月21日の全国放送に

湯ノ又地区に伝わる「百万遍」の行事が、三月二十一日（土）のNHKテレビ番組「どこかで春が・日本海」で全国に紹介されます。放送時間は、午前十時十五分から午前十一時まで。

この番組は、新潟県の佐渡をキーステーションにして、日本海側に伝わる行事などを紹介するもので、湯ノ又の百万遍も春を告げる行事として取り上げられました。また、この番組は実況生中継で、湯

ノ又の大休院から、森山山頂に設置するアンテナを利用して放送されます。百万遍は、一つの大きな数珠をたぐさんの人たちが念仏を唱えながらまわし、家庭や地域の無病息災を祈るもの。普通は地域の入口で行われませんが、お寺の本堂での百万遍は、全国的にも珍しいそうです。当日は、地域の皆さん四十人以上が出演します。

は、役場住民課へご連絡ください。なお、児童については、自分の子供である必要はありません。その子を養育していれば児童手当が支給されます。ただし、前年の収入が一定の額以上の家庭は児童手当は受けられません。

対象児童の年齢
三年間で段階的に修正

新制度では、昭和六十三年度に対象児童の基準を就学前に統一し、より多くの家庭に児童手当を支給できる体制をとりました。昭和六十一年六月から段階的に支給対象が変わり、昭和六十三年四月で制度が完成します。

▽一年目（昭和六十一年六月一日から六十二年三月三十一日まで）

昭和六十一年六月一日現在で、二人目のお子さんは二歳未満、三人目からのお子さんは中学校卒業までが対象児童となります。

▽二年目（昭和六十二年四月一日から六十二年三月三十一日まで）

昭和六十二年四月一日現在で二人目のお子さんは四歳未満、三人目からのお子さんは小学校三年までが対象児童となります。

▽三年目（昭和六十三年四月一日以降）

二人目のお子さんも三人目からのお子さんも、就学前までが対象児童となります。

千代田区との都市交流に向けて

③

千代田区の紹介

東京二十三区の中央に位置し、旧江戸城の外濠にほぼ囲まれた区域。人口五万四千七百

十三人、世帯数一万九千七百十七世帯（昭和六十年十月一日現在）、面積一一・五二平方キロメートル。太田道灌によって築かれ、後に徳川家康の本城となった江戸城（皇居）を中心として、江戸時代から現在に至るまで、日本の政治・経済・文化の中枢機能が集中する都市として発展してきました。永田町・霞ヶ関の政府官公庁街、大手町・丸の内の大企業の本社が集中するオフィス街、神保町を中心とする書店街、秋葉原

の電気街は全国的に知られています。首都東京の都心区としての役割と、活気と安らぎのある調和のとれたまちづくりを目指し「教育と文化のまち千代田」を宣言しています。また都市機能の集中に伴い昼間人口が増加する反面、夜間人口が減少していること、地価高騰による対策、人口の高齢化などの課題があり、他団体との関係緊密化により解決の一部を図ろうとしています。昭和六十年年度一般会計当初予算二百三十三億三千四百四十二万円。区の職員数は千四百六十四人。

千代田区ガイドマップ



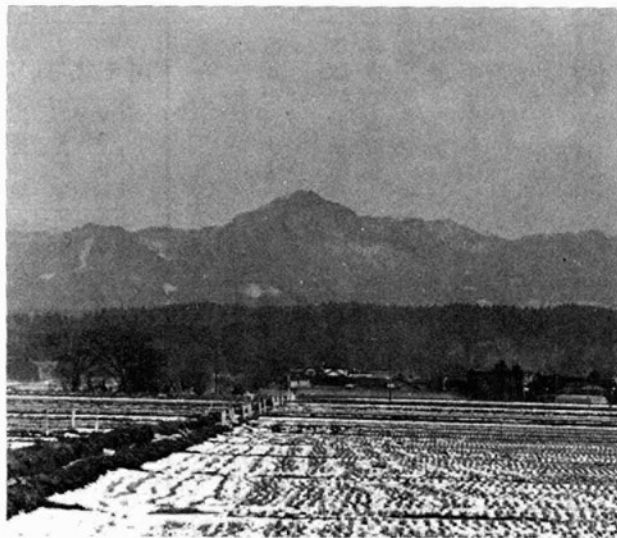
大河兼任のなぞ

②4

最終回

兼任以後

小野 一二



石崎遺跡の後方に岩野山を望む

『吾妻鏡』の文治六年(一九〇)三月二十五日条に「兼任が去る十日誅せられた」と、奥州から飛脚で知らせて来た。またその時数十人を生けどりにした」とある。頼朝が十五日も遅れた知らせを、どんな気持ちで受けたかは知らない。しかし大きな軍勢を動かしたのが、戦いの帰るところを見通したように、頼朝は鎌倉を一步も出なかった。

鎌倉では反乱は終わったとされていたのであろう。反乱が終った後の奥羽支配のために、頼朝は乱に同調した本・新留守氏をやめさせ、有力御家人を奥州総奉行の外に留守職に任命したのである。

多賀国府の本・新留守氏は形ばかりの律令政府の地方出張所長にすぎない。軍事力としてはみるべきものはない、単なる地方官であった。それを頼ろうとしたところに、兼任の一つの誤算があった。

栗原寺付近で兼任が殺された時、敗軍にありながら、まだきらびやかな甲冑をつけていた。そのため落武者狩りの樵夫にねらわれたのである。敗軍の将らしい哀れな話である。

本・新留守氏は追放され、奥羽地方の古代を代表する平泉藤原氏の残党は消えてしまった。兼任は自らの死によって、日本の古代の幕引きの役を果たしたのである。

それまで総追捕使、総地頭であった頼朝が、乱が終って征夷大將軍に任じられた。建久三年(一一九二)七月のことで、三月には後白河法皇がなくなっている。頼朝の奥州支配によって中世が始まった。

奥羽各地の地頭となった御家人たちは、乱後ようやく開拓にはげむようになる。兼任を反乱にかりたてて結果になった、秋田郡に内部した橘公業の場合は、どうだったろうか。

前に述べたが、公業は秋田郡の雄物川下流から湖東部にかけての地方と男鹿島の郷地頭職になったが、自身は鎌倉にいて一族の代官を派遣して支配していた。ところが、出家入道して沙弥公蓮と称するようになった公業は、十五年ほどした元久元年(一二〇四)湯河の地頭職を妻の藤原氏に譲り渡した。藤原氏はさらに承元四年(一二一〇)娘の葉上に地頭職を譲った。

公業は頼朝の側近として鎌倉にあったが、嘉禎二年(一二三六)本領伊予国宇和郡を幕府にうばわれて失脚した。かわりに九州に数カ所の郷・荘を与えられただけであった。公員も正応元年(一二八八)に肥後国久米郷半分地頭にされて移住している。鎌倉時代末には、小鹿嶋橋氏は秋田郡から消えている。

そうした秋田郡や男鹿島の空白につけ入って勢力をのばしてきたのが、津軽の安東氏である。海上勢力である安東氏は、初め男鹿島を足場とした。秋田の中世は安東氏の色に塗られている。

兼任死後の大河氏一族については、なんの記録もない。五城目にある中世の城館の跡は、安東氏支配の歴史を伝えるのみである。(終)

あなたのアイデアで県特産品を

特産品開発コンクール

秋田県特産品開発コンクールの参加作品を募集しています。このコンクールは、本県物産品の開発促進と商品デザインに対する県民の理解と認識を深めるために、県などの主催で開かれるものです。

▽募集種別

- ・観光土産品(人形、玩具、装飾品)
- ・工芸品(家具を除く木竹工芸品、織物)
- ・菓子、食料品(酒類を含む)
- ・金属工芸品
- ・陶器

・前記各部門のパッケージ、デザイン

▽応募条件

- ・応募作品は、応募者自身の創造品に限ります(応募資格は個人、企業およびグループを問いません)
- ・過去において国、県で実施したコンクールなどの入賞作品は除かれます

▽作品 応募作品は現物または図面とし、応募点数には制限ありません

▽締め切り 三月二十五日

▽申し込み 問い合わせ先

〒010 秋田市山王四丁目一 県商工労働部流通物産対策室(☎60-1703)

五城目第一中学校同窓会の昭和六十二年度総会を開催します。

62年度総会を開催

五城目一中同窓会



- ▽日時 三月二十二日(日) 午後二時
▽会場 町民センター
▽案件
①六十一年度の会務報告
②六十一年度の会計報告
③同窓会名簿の発刊の進行状況について
④四十周年記念行事について
⑤その他
▽懇親会

婦人週間記念講演

秋田婦人少年室

四月十日から始まる「婦人

週間」にちなんで、婦人週間記念講演会を開きます。入場は無料。どなたでも聴講できます。
▽日時 四月十六日(木) 午後一時半～三時半
▽場所 秋田市文化会館大会議室(五階)
▽内容
・講師 毎日新聞論説委員・増田れい子氏
・講演テーマ 女を生きる
▽問い合わせ先
秋田婦人少年室(☎62-6884)

4月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜 日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町 今 町、御蔵町、小池町、川原町、新 町 一番町、古川町、紀久栄町、館 町、中川原 樋 口、岩城町	2日・6日・9日・13日・16日 20日・23日・27日・30日 月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町 雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	3日・7日・10日・14日・17日 21日・24日・28日 火・金
大川(1区～4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	1日・4日・8日・11日・15日 18日・22日・25日 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町 今 町、御蔵町、小池町、川原町	11日・第2土	25日・第4土
新 町、一番町、古川町、紀久栄町、館 町、 中川原、樋 口、岩城町	10日・第2金	24日・等4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町 矢場崎	9日・第2木	23日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	8日・第2水	22日・第4水
大川(1区～4区以外の地区)、森山地区、馬川地区	14日・第2火	28日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	13日・第2月	27日・第4月

- 注 意 ・台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
・ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

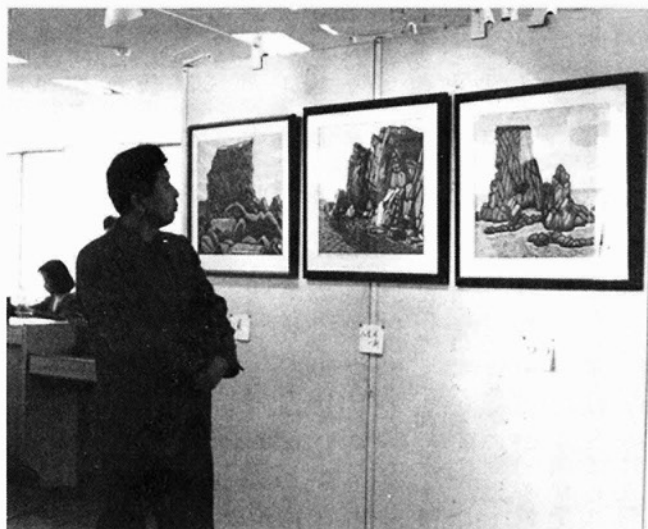
五城目町清掃センター TEL52-9904

庁舎ギャラリーご案内

真人氏の版画を展示

庁舎玄関ロビーでは、三月二日から、伊藤真人氏(本名一郎・町村)の版画を展示しています。展示作品は二十六点で、展示期間は三月いっぱい。伊藤氏は、芸術文化高揚のため昭和二十二年、町内の美術愛好者の集りである「和光会」を創立し、現在までその会長を務められています。また、昭和十二年から

三十八年まで教師として学校教育に尽くされ、この間、富津内西小学校長、馬場目小学校長などを歴任されています。日本版画協会審査員、秋田造形美術協会絵画部常任委員、秋田作家協会会員、町功労者、八十一歳。四月からは小林実氏(小池町)の油絵を展示する予定です。



3月いっぱい庁舎玄関ロビーに展示される真人氏の版画

薪を販売しております。

昭和62年冬期用の薪(ナラ、ブナ等)を販売しておりますので、必要な方は下記によりお申込み下さい。

- ①1釜(5尺×5尺×3尺)を13,000円でお届けします。(町内)
- ②代金は、前納又は現品引換えでお願いします。
- ③昭和62年7月末頃までにお届けします。
- ④数量に制限がありますので予約は早めにして下さい。
- ⑤申込みは、五城目森林組合へ、☎52-3135、☎52-2100

五城目森林組合

